

審議会会議録

1 会議の名称	平成 28 年度第 4 回富津市子ども・子育て会議
2 開催日時	平成 29 年 3 月 22 日 午後 1 時 30 分～午後 3 時
3 開催場所	富津市役所 503 会議室
4 審議等事項	○議題 (1) 富津市の今後の子ども・子育て支援について (2) 子育て応援ガイドブックについて (3) その他 ○報告事項 (1) 平成 29 年度当初予算について (2) 公立保育所の再配置について
5 出席者名	委員 鵜田 勝、井上久吏子、白井佳恵、芥子剛尚、相澤靖司、高橋多賀子、鈴木眞廣、岩瀬志帆、岡村京子、松倉佳子、渡辺務、竹谷覚治 事務局 磯貝健康福祉部長、下間子育て支援課長、小柴保育係長、中山子ども家庭係長、田嶋副主査、圓川総括保健師
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	1 人（定員 5 人）
9 所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

平成 28 年度第 4 回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
事務局：中山	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認
事務局：中山	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の成立 <p>宮里委員、渡辺（武）委員、平野委員 3 名が欠席、鵜田委員、井上委員は遅れるとの連絡あり。9 名の委員の方が出席しており過半数を超えているので、子ども・子育て会議設置条例第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立する旨報告。</p>
事務局：中山	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開 <p>この会議は、富津市情報公開条例第 23 条の規定により公開する。</p> <p>傍聴人 1 名あり。</p>
渡辺会長	<p>2 会長挨拶</p> <p>今年度最後の会議となった。</p> <p>今日の資料にもあるが、先日市長の次年度の方針を示す施政方針が公表された。</p> <p>子育てに関する施策が具体的にいくつか示された。市議会でも予算審査の中で内容について議論している。</p> <p>富津市の子どもに関する、子育てに関すること、オピニオンリーダーが委員の皆さんだと思う。その意味で重要な役割を担っていると考えている。子どもたちの夢が広がるような明るい未来予測できるような意見をお願いしたい。</p>
渡辺会長	<p>3 会議録署名人の指名</p> <p>会長のほか、白井委員にお願いする。</p> <p>4 議題</p>

渡辺会長

事務局：下間課長

< (1) 富津市の今後の子ども・子育て支援について
>

報告 (1) 富津市の今後の子ども・子育て支援について事務局の説明を求める。

- ・子ども・子育て支援事業計画に沿って、第5章の「子ども子育ての施策」の子育て支援課所管について進捗状況及び平成29年度の方策を説明。

《妊娠期》

- ・マタニティ講座を保育所においては2回行った。29年度も継続実施の予定。子育て支援センターではマタニティ講座と限定しないで、様々なメニューを実施。

《乳児期幼児期》

- ・食育事業として、公立保育所において食べ物教室を年1コース4回実施し、29年度も同様に行う予定。
- ・一時預かり事業は、公立各保育所と3つの私立保育園、認定こども園で実施。29年度も継続実施の予定。
- ・延長保育事業は、27年度からの天羽地区での実施は、中央保育所において午後7時まで開所しており、引き続き実施。
- ・病後児保育事業は富津保育園で実施。今年度約500人の利用が見込まれている。引き続き29年度行う予定。

《学齢期・思春期・活動期》

- ・放課後児童健全育成事業は担い手がなく、27年度に富津地区に新たに1か所、28年度に大佐和地区と天羽地区に1か所ずつとした計画が達成できていない。今後は公設民営も選択肢に加え、早期に達成できるよう取り組む。

《育児期全般》

- ・利用者支援事業は地域子育て支援センターの設置と合わせて29年度からの実施を目標としており、妊娠期から対象とするため健康づくり課での実施を検討

したい。

- ・子育て情報の発信は「ふつつ子育て支援ガイド」を今年度3回改訂し、最新の情報に更新した。
- ・29年度は4月からは電子母子手帳の提供も開始し、情報発信を充実させる。
- ・地域子育て支援拠点事業は、富津地区に29年度1か所、30年度に天羽地区に1か所の開設を目標とし、29年度検討。
- ・子育て援助活動拠点事業（ファミリーサポートセンター）は地域子育て支援センターの設置と合わせて29年度からの計画だったが、前倒しで28年4月から富津市社会福祉協議会で実施している。2月末時点会員数はお願い会員51人、まかせて会員13人、どちらも会員5人の69人で、活動実績は87件。29年度もPRに努める。
- ・おひさま広場事業は、公立保育所の主任保育士により、1歳6か月健診に合わせて市役所ホールで実施。29年度も継続実施。
- ・園庭開放は、各保育所（園）で実施。29年度継続。
- ・児童虐待相談対応事業は、要保護児童対策地域協議会、実務者会議を奇数月の最終月曜日に開催。必要に応じ、個別支援会議を開催した。今年度から実務者会議に小児科医師が加わった。
- ・児童家庭相談事業は、家庭相談員を引き続き雇用。
- ・養育支援訪問事業は、未実施。29年度は状況を見極め検討。
- ・児童福祉法の改正により、児童虐待対応の強化が求められているので、今後も児童相談所等関係機関と連携して対応。

《特別な支援が必要な子供への支援》

- ・保育所（園）、幼稚園への巡回訪問は、特別支援学校教諭が巡回し、保育士への指導を行うもの。今年度は社会福祉課の療育等支援事業、天羽相談支援セ

ンター専門員の巡回訪問に振り替えた。29年度は保育士の要望を確認し検討。

《経済的負担の軽減》

- ・ 児童手当は国の施策であり、29年度も実施。
- ・ 子ども医療費助成及び未熟児養育医療給付も継続実施。
- ・ 母子父子自立支援相談事業を継続。
- ・ 児童扶養手当も継続実施。手当額が物価にスライドして、平成28年4月から月額42,330円に増額した。さらに、8月分から多子加算も増額され、加算額が所得に応じて変動、上限額が10,000円と6,000円に引き上げられた。
- ・ ひとり親家庭等医療費助成も継続実施。
- ・ 母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付相談は母子父子自立支援員により行う。
- ・ 平成28年度、ひとり親家庭就労等支援事業を新たに実施。

《第4章事業計画》

- ・ 国から計画の「量の見込みと確保方策」の見直し基準が示された。保育認定の量の見込みが実際と10%以上かい離している場合は原則として見直しが必要。
- ・ 地域子ども・子育て支援事業も必要に応じて見直しをすることとされた。
- ・ 29年度見直しを行う予定。今後資料を示す。

見直しの過程で皆さんの意見を伺う。これまでの話し合っていたいただいたこと、文化祭でのアンケート結果、市の子育て支援メニューの体系図を参考に意見をいただきたい。

○意見、質疑

なし

渡辺会長

<p>事務局：中山</p>	<p>< (2) 子育て応援ガイドブックについて ></p> <p>(2) 子育て応援ガイドブックについて、事務局の説明を求める。</p> <p>《資料1について説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来職員手作りで配布していた「ふつつ子育て支援ガイド」を官民協働で作成することになった。 ・提案を募集し、2社から株式会社サイネックスに決定した。 ・平成29年9月に発行予定。 ・4000部作成し、市窓口で配布以外に保育園や幼稚園、小学校を通じて配布。所属の無いお子さんにも方法を工夫して漏れの内容配る。 ・今時点で0～12歳人口が約3600人。29,30の2か年の出生を400と見込み、4000部作成。 ・バック等に入れやすいよう、A5判サイズで70ページ程度、オールカラーの見やすいものとしたい。 ・行政の支援メニューのほか、お散歩マップやトイレマップ等役立つ情報を掲載したい。 ・手に取って知ってもらうことが大事。 ・資料2枚目に割付け案を示した。子供の成長段階に合わせてカテゴリー分けする考え。 ・別資料、他市の表紙をカラーコピーしたもの。イメージに対する意見をいただきたい。 ・子育ての経験、困った経験やアンケート等で寄せられた意見等、反映できたらと考えている。意見、提案をお願いします。
<p>渡辺会長</p>	<p>まずはガイドブックそのものにお意見や質問があるか。</p>
<p>相澤委員</p> <p>事務局：中山</p>	<p>○意見・質疑等</p> <p>A5サイズで70ページということだが、広告収入で</p>

<p>芥子委員 事務局：中山</p>	<p>賄える規模か？</p> <p>先ず仕様を示して募集している。経費を算出し、広告を募集し、賄えるということで応募があったと考えている。</p>
<p>芥子委員 事務局：中山</p>	<p>4000部はどうやって渡すのか。市役所に据え置くのか？</p>
<p>芥子委員 事務局：中山 鈴木副会長</p>	<p>保育所、幼稚園、小学校はそこから。出生、転入は市役所で、それ以外健診等を利用。方策を検討。漏れの無いよう。</p>
<p>事務局：中山</p>	<p>市役所に置いておくだけでなく、配るのか？</p> <p>そのように考えている。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>ストック2年分のようなのだが、2017年版作ってその後、視野に入っているのか？</p>
<p>岡村委員 事務局：下間課長</p>	<p>情報更新が早いので、2年と想定している。その先の形は未定だが、情報発信は続ける。今回は紙のガイドブックのほか、ホームページからも閲覧できるようにする。</p>
<p>岡村委員 事務局：下間課長</p>	<p>続いて、内容の議論に移る。割付け案を見て、もっとこんな情報があったほうがいいなどの意見を出していただきたい。</p>
<p>松倉委員 事務局：下間課長</p>	<p>持ち歩いているときに、さっと書けるメモ欄を作るとは可能か？</p> <p>参考にする。</p>
<p>松倉委員 事務局：下間課長</p>	<p>「子育ての話何でも聴きます窓口」という記載があるが、どんな内容か？支援事業計画にあるのか？</p>
<p>渡辺会長 事務局：中山</p>	<p>市長公約。窓口が分かりにくいという市民の意見を受け、この4月から子育て支援課に相談を受けるコーナーを作る。</p>
<p>松倉委員</p>	<p>市役所内にできるということは、平日、時間内オンラインということか？</p> <p>そのとおり。</p> <p>窓口の紹介をするのか？</p> <p>設置場所や開設日時を載せる予定。</p>

事務局：中山 鈴木副会長	<p>広告収入で作るのだから仕方ないが、見本を見ていると伝えたい情報と広告が入り混じって見える。ページによってはごちゃごちゃする感が出ないか？</p>
事務局：中山	<p>今後の打ち合わせで、掲載情報へ影響出るようなデザインは用いない等したい。</p>
鈴木副会長	<p>ガイドブックの後ろへ広告だけまとめる等できないのか？</p>
松倉委員	<p>広告に協力するのも、そのページの掲載情報に関連するから協力するということも多い。広告掲載に基準を作り、審査をする。</p>
事務局：中山	<p>先行して作っている市があると思うが、使い勝手や評判等情報を収集しているか？先行事例のメリット・デメリットを活かして欲しい。</p>
松倉委員	<p>市内の人だけに発信するのではなく、子育てしやすいまち日本一を対外的にアピールできるといい。何か考えているか？</p>
事務局：中山	<p>アピールしたい。限られたスペースだが、移住を呼び込むような情報、外向けの情報を載せたいと考えている。</p>
渡辺会長	<p>ネットからも見られるということだが、サイネックスのページにあるのでは限定的。</p>
事務局：中山	<p>市のページからリンクさせる。発行の際にもアピールしたい。</p>
渡辺会長	<p>見本を見るとそれぞれ異なる感じ。オリジナリティがある。市がそれぞれ作っているのか？</p>
事務局：中山	<p>市とサイネックスとの話し合い。トータルイメージをどうするのか。タウン誌のようなおしゃれな感じか、子育てのガイドブックと一目で分かるものか。</p>
梶田委員	<p>今でなくても、気付いたことがあれば後日個別に事務局に連絡を。</p>
事務局：中山	<p>来月中旬までには詰めたい。ご意見は半ばくらいまでをお願いします。</p> <p>市の考えとしては、この1冊で事足りるよう情報を</p>

<p>鈴木副会長 鴫田委員 渡辺会長 井上委員 鈴木副会長 事務局：田嶋 事務局：下間課長 岡村委員 事務局：中山 渡辺会長 渡辺会長 委員席 渡辺会長 事務局：下間課長</p>	<p>載せていくのか、きっかけとなる情報を載せるのか？</p> <p>すべての情報を詳しく掲載することはできない。市がどういったことをやっていて、どのタイミングにどこへ訊けばいいのか、伝わるように作る考え。</p> <p>つなげていくことが大事。</p> <p>手に取って見たいもの、そうでないものとある。</p> <p>字や説明が多いものより、イラストが多いと分かりやすい。</p> <p>他所から来て地理が分からない人も多いので、地図があるといい。</p> <p>ブックスタートも一緒に行き渡るのか？</p> <p>ブックスタートは4か月健診で絵本を配る。このガイドブックとは異なる。</p> <p>ブックスタートは4月から、ガイドブックは9月と時期がずれる。</p> <p>アクアラインを使えば都心からも近い。アクセスの良いことも載せては？</p> <p>PRのページに載せたい。</p> <p>委員の皆さんの意見に市外の人へのPRという視点があると思う。事務局は念頭に置いて進めて欲しい。</p> <p>< (3) その他 ></p> <p>議題 (3) その他を議題とする。</p> <p>特になし</p> <p>5 報告</p> <p>< (1) 平成29年度当初予算について ></p> <p>報告 (1) 平成29年度当初予算について、事務局の報告を求める。</p> <p>《資料2に沿って説明》</p> <p>・3月議会に29年度の方針として示したものの。市長公約「子育て世帯への新たな支援」に対応するものに</p>
---	---

事務局：小柴係長	<p>ついて説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなものとして、特定不妊治療費の助成（健康づくり課）、電子母子手帳の導入（健康づくり課）、ブックスタート事業（生涯学習課）、子育ての話何でも聴きます窓口の設置（子育て支援課）、第3子以降保育料無料化（子育て支援課）、私立幼稚園就園奨励費の第3子以降の年齢要件、所得要件の撤廃（学校教育課）、放課後学習教室（教育センター）がある。
鈴木副会長	<p>《国の資料「平成29年度における幼児教育の段階的無償化の推進について(案)について説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村民税非課税世帯の第2子無償化、年収360万円未満相当世帯の保護者負担軽減を、29年4月1日からの施行予定として、国は予算要求している。 ・裏面は国の基準を表しており、イコール市の基準ではない。
事務局：下間課長 鴫田委員	<p>○意見・質疑等</p> <p>第3子以降だが、上の子は幼稚園、下の子は保育園というようにまたがってもいいのか？</p>
事務局：中山 鴫田委員	<p>対象となる。</p> <p>電子母子手帳の登録データはどこに格納されるのか？</p>
事務局：下間課長 松倉委員 鴫田委員	<p>アプリ会社のサーバー。</p> <p>なんという会社か？</p> <p>株式会社エムティーアイという会社で、木更津市が導入している。</p>
事務局：中山 鴫田委員 磯貝健康福祉部長	<p>ニックネームで氏名は使わないのか？</p> <p>アプリの会社は自由に登録データを使ってしまう。</p> <p>（事務局注：個人を特定できない形態にしたうえで利用する場合があることが利用規約に明示される）</p> <p>利用規約を承認すればダウンロードできる。冊子の母子手帳は残る。プラスの機能として提供する。</p>

井上委員	市の事業として、市が経費を支出するのか？
	初年度は無料。市と事業者が協定を結び、個人情報の勝手な使用はできない。セキュリティを守ってもらう。
磯貝健康福祉部長	紙の手帳は残るということだが、健診には手帳を持って行き、自分でデータを入力するサービスを提供するということか？
鈴木副会長	そのアプリがないと検診が受けられないということ
磯貝健康福祉部長	は無いか？
渡辺会長	冊子の母子健康手帳は法律で決まっている。アプリ
松倉委員	は任意の利用。
鴫田委員	母子手帳を忘れたら、アプリを出せばよいのか？
事務局：中山	手帳は必要。
芥子委員	データをクラウドで保管するイメージか？
	広告が掲載されるのだろう。
岡村委員	登録データを利用できるから無料なのだろう。
	協定で取り扱いの約束事を決めてから開始する。
磯貝健康福祉部長	使う、使わないは本人の考え。市として便利な機能があることをお知らせするという事。
事務局：下間課長	説明をしっかりとしないと、市が使いなさいと言ったことになってしまう。
	木更津市、袖ヶ浦市もスタートしている。神奈川県では県を挙げて 28 年度にスタートしている。
渡辺会長	29 年度予算、応援ハガキ、きずなメールの予算要求をしたが、予算措置されなかった。この電子母子手帳のお知らせ機能が使えるということ。
事務局：小柴係長	
	< (2) 公立保育所の再配置について >
	報告 (2) 公立保育所の再配置について、事務局の報告を求める。
	・第 2 回会議で説明したが、施設の経過年数、児童数の減少、立地条件等から、金谷保育所を廃止し、竹岡保育所へ統合を子育て支援課計画案として、経営

<p>相澤委員 事務局：小柴係長 相澤委員</p>	<p>改革推進課へ提出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は 29 年度に庁内検討組織「公共施設等庁内検討会議」において、他部局所管する施設等との複合化等検討し、市としての計画案を策定する予定。 ・ 状況に応じて、この会議に報告する。
<p>事務局：小柴係長 鈴木副会長</p>	<p>○質疑</p> <p>小中学校の統廃合を含んで、保育所も考えるのか？ 小中学校には含まれていない。</p> <p>金谷保育所と竹岡保育所との統合は決まったことか？</p>
<p>事務局：下間課長</p>	<p>決定ではない。子育て支援課として案を考えた。施設の使用、やり方等庁内の検討会議で検討する。</p>
<p>鈴木副会長 事務局：下間課長</p>	<p>来年度予定している計画の見込み数の見直しと統廃合の関係は？</p> <p>この会議で意見は伺う。定員の決定には子ども会議の意見を聴く。金谷保育所の統廃合は検討会議、経営改革本部会議で決定する。</p>
<p>鈴木副会長 事務局：下間課長 渡辺会長</p>	<p>器としての施設をどうするかは庁内会議、定員はこの会議で決めるということか？</p> <p>定員の変更については子ども・子育て会議で意見をいただく。金谷保育所を廃止した場合、40 人の定員を市として減させるのか、意見を聴く。</p> <p>検討会議は傍聴できるのか？</p> <p>庁内、内部の会議は公開の対象ではない。</p>
<p>事務局：田嶋</p>	<p><その他></p> <p>その他として、委員の皆さんから何かあるか。事務局からあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吉野小学校に、保護者会によって放課後児童クラブ開設の準備が進んでいる。 ・ 子育て講座を 3 月 16 日に実施した。「子育てのヒントを学ぼう」をテーマに NPO 子ども家庭サポートち

事務局：中山 渡辺会長	<p>ばオレンジの会（南房総市）に講師をお願いし、児童家庭支援センターピーターパンの家（湊）で実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもへの声掛け等、ロールプレイを織り込んだ内容。・20人の定員に10人参加。好評を得たので、29年度も同じように開催していく。 <p>今年度の会議日程はすべて終了した。29年度の第1回会議開催は6月頃を予定している。</p> <p>本日の日程は終了した。以上で閉会とする。</p> <p>15時 閉会</p>
--------------------	--